



公益社団法人日本語教育学会 テーマ別研究会
多文化共生社会における日本語教育研究会（多文化 SIG）
2014 年度（第 11 回）研究会

年少者日本語教育の今とこれから

「特別の教育課程」の現状と課題

2014 年度から、小・中学校において「特別の教育課程」として、日本語指導を実施することが認められました。今までにも学校現場ではさまざまな取り組みが行われてきていますが、現在の小・中学校における日本語指導の現状はどうなっているのでしょうか。「特別な教育課程」としての実施が認められてからの現場の状況・課題も含めて、今そして今後の年少者日本語教育のあり方について考えたいと思います。まず、齋藤ひろみさんに、今までの年少者日本語教育の変遷と課題について、お話をさせていただきます。その後、宮崎幸江さんに秦野市の取り組みを、砂子小学校で日本語指導を担当している皆さんに、現場での指導内容や担当者間の連携など学校全体としての取り組みを紹介していただき、全体でディスカッションを行いたいと考えています。また年少者日本語教育以外に、自治体の日本語教育の取り組みに関する調査報告（全国 500 自治体程度）も行います。ぜひ多くの方にご参加いただければと思います。

【日時】2015 年 2 月 14 日（土）13:00～17:00（12:30 受付開始）

【場所】大東文化大学板橋キャンパス

【内容】1) 自治体の日本語教育の取り組み調査報告

2) 年少者日本語教育の今とこれから

講演：齋藤ひろみ

「年少者日本語教育のこれまで: 特別の教育課程に至るまでの状況と課題」

事例発表 1：宮崎幸江

「神奈川県秦野市の取り組み: 特別の教育課程とアセスメント」

事例発表 2：「陽光教室（日本語指導教室）」担当者

「大阪府門真市砂子小学校の日本語指導の取り組み」

3) ディスカッション

4) 研究会総会

【資料代】1,000 円 【定員】80 名（定員になり次第〆切ります）

【申し込み】<http://kokucheese.com/event/index/244817/>

上記 URL にアクセスして、必要事項を書いて送信してください。

お問い合わせ：多文化 SIG 事務局 吉峰 yoshimine@mac.com